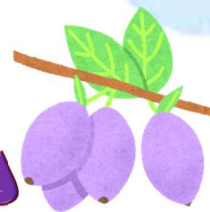


# 令和5年度 厚真町ハスカップフォーラム

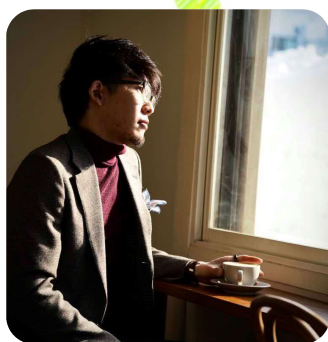


令和6年3月21日(木) 15時～

厚真町総合福祉センター 大集会室

主催：厚真産ハスカップブランド化推進協議会

## 講演 「喜んでくれる人の顔を想像して、 厚真産ハスカップを地域ブランドに！」



### <講師紹介>

ほりぐち けん  
**堀口 研** (32歳)

明善株式会社 取締役・ブランディングディレクター  
/Sharpening Sapporo 代表

≪一般社団法人「日本ほめる達人協会」認定講師 2020年1月～≫

大学卒業後、生活協同組合コープさっぽろに就職。宅配現場での担当・マネジメント業務、本部での広報・企画運営などの経験を経て、2020年5月より個人事業主として独立。道内の中小企業を中心に、経営理念・経営者の想いを出発点とした戦略立案から、文章や動画などの最終的なアウトプットへの落とし込み、PRまでを一気通貫で支援。2022年9月から「北海道の次の100年をデザインする」をコーポレートミッションとして掲げる明善株式会社に参画。

『喜んでくれる人の笑顔を想像する。何事もそれだけで頑張れたりするものですが、実は「ブランド」を作っていく上でも大事なことなんです。「ブランド」の定義やターゲット設定の考え方、ブランド化していくために大事なことなど、生産から販売までの参考になるような情報をお届けできればと思います。』

### ●厚真産ハスカップの魅力●

ハスカップは、厚真を含む勇払原野が日本最大の群生地でした。1980年代に、勇払原野は工業開発が行われ、そこに生えていたハスカップの木を厚真に移植。味の良い実のなる木を選抜し、現在では、栽培面積日本一であり、「あつまみらい」「ゆうしげ」といった品種も栽培されています。6月下旬～7月中旬は、収穫期であり、栄養豊富でそのまま食べても美味しいハスカップを味わうことができます。

### ●「厚真産ハスカップブランド化推進協議会」とは？●

平成27年、厚真町の「ハスカップ」の知名度向上（ブランド化）のため、町内外の関係する団体や事業者等で構成され、ハスカップに関する情報の共有や、PRイベント等を行います。ブランド化に向けた取り組みとして、地理的表示保護制度（GI）や地域団体商標の登録を目指しています。